

平成27年度 第1回社会教育委員の会議 会議概要

- 1 審議会名 第1回社会教育委員の会議
- 2 日 時 平成27年5月28日(木) 午前10時00分から午前11時40分まで
- 3 会 場 本庁舎共用会議302
- 4 出席者 平田米子委員、小穴廣光委員、荻原義重委員、松尾明保委員、山崎敦子委員、今村勝人委員、伊藤正住委員、倉科明生委員、山崎美子委員
- 5 市側出席者 橋渡教育長、北條教育部長、生涯学習課蓮井課長、文化課那須野課長、図書館交流課高嶋課長、社会教育担当藤森係長、社会教育担当小笠原係長、豊科地域課横川係長、穂高地域課曾根原課長補佐、三郷地域課竹内係長、堀金地域課大林係長、明科地域課山越課長補佐、文化振興係山田課長補佐、文化財保護係山下課長補佐、図書館交流担当小林課長補佐、図書館交流担当財津係長、社会教育担当臼井主査、社会教育担当小澤主事
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成27年6月10日

協 議 事 項 等

【会議概要】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
橋渡教育長
- 3 協議事項
(1) 平成26年度 事業報告について
 - ・生涯学習課
 - ・支所地域課
 - ・文化課
 - ・図書館交流課
(2) 安曇野市公民館使用料の減免基準の改正について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

【協議事項】

《細田議長、三澤副議長ともに欠席のため、本日の出席者の中から会議の進行を務めていただく委員を選出することについて事務局から諮ったところ、異議なしとの意見が委員からあった。また、会議の進行を務めていただく委員の選出については、事務局一任との意見が委員からあったため、委員経験の長い平田委員を選出することを事務局から諮り、出席した委員全員から承認された》

(1) 平成26年度 事業報告について

《生涯学習課各係長より説明》
《支所地域課各係長より説明》
《文化課各係長より説明》
《図書館交流課各係長より説明》

(委員)

「集まれ！あづみっ子まつり」が雨天中止となってしまったとのことですが、決算額905,000円が計上されています。これは、事前に購入したものがあったためだと思いますが、このことについて説明をお願いします。

(事務局)

前日に、借りたテント・机・遊具を会場に全てセットしましたが、当日朝に中止の判断をしたため、セットした分について支払った金額を決算額に計上しました。

(委員)

新市立博物館構想策定事業についてですが、将来、新しい博物館を建てる方向で考えているのか、ただ調査するだけなのかを教えてください。

(事務局)

今回は、新しく建てる場合、現状を維持する場合、既存施設の増改築の場合の3つのケースについて審議をしています。財政面等の要素もありますが、市全体の捉え方・考え方を踏まえて最終的にどの案で行くかという選択のなかで対応していきたいと思います。

(委員)

東京都では少子高齢化が進んでいて博物館や美術館の経営が非常に難しく、統合していく方向が打ち出されているそうです。安曇野市も少子高齢化の問題を抱えていますので、将来的なことも考えてしっかりとした構想を立ち上げていただきたいと思います。

(委員)

ジュニアリーダー養成事業について参加者が減少傾向とのことですが、どの観点で参加者を募集しているのか、また、内容の見直しが必要ということについて、何か考察がありましたらお聞かせください。

(事務局)

今までは、小学5年生・6年生あたりを募集し、研修をして中学生・高校生になったらジュニアリーダーというかたちでしたが、大人と子ども会を結んで活動を活発にするということで、中学生・高校生を募集したほうが良いのではないかと考え、昨年は中学生・高校生を対象に募集しました。また、内容の見直しについてですが、ジュニアリーダーを養成しても各地域の子ども会でジュニアリーダーとして活動できているかという点、活動できていません。そこで、システム自体をしっかりと作らないと、ジュニアリーダーの養成というのは全体としてうまくいかないのではないかと、全体の見直しについて係で検討をしています。

(委員)

小学校5年生・6年生でしたら、子ども会の関係や各地区の行事の企画等を考えて地域をまとめることに結びつくことができると思いますので、検討していただけたらと思います。

(事務局)

子ども会の中心は小学校5年生・6年生であり、その年代の育成も必要だと思っていますので、小学5年生・6年生・中学生・高校生を含めて、トータルでジュニアリーダーの養成を考えていきたいと思っています。

(委員)

地域が元気になるためには地域に密着した活動が一番大事であり、それが生涯学習課に与えられた使命であると思いますので、これからも一層頑張ってほしいと思います。スポーツについてですが、マラソン大会等で良い成績を収めていますが、もうひとつ目玉を作って頑張ってほしいと思います。次に図書館ですが、みらいやきぼうの図書館からもっと積極的に発信をしていってほしいと思います。それから、高橋節郎美術館ですが、館長さんをはじめ職員の皆さんが頑張ってくださって、大勢の方が訪れています。これからも前向きに取り組んでいってほしいと思います。そうすれば安曇野市はもっと元気になると思います。生涯学習は、埋蔵文化財、古文書の保存、宇宙まであらゆることをやらなければなりません。生涯学習の事業を進めていくためには、人材が一番だと思っていますので、これからも元気を出して頑張っていただきたいと思います。

(委員)

地域の公民館活動のなかで、地域人権教育推進会議及び研修会は全部の地域でやっていると思いますが、三郷公民館や明科公民館の事業報告には記載がありません。そこで事業報告の記載についてお願いですが、生涯学習課からの指導があって各公民館で取り組む事業と、各公民館で非常に努力して工夫されて地域独自性を出して取り組んでいる事業を分けていただきたいと思います。

(事務局)

書式を改めまして、次回からは社会教育担当の人権教育推進事業にまとめて記載するなどして、わかりやすい資料編成にしたいと思います。

(委員)

市本庁舎の隣にある藤森秀夫さんの記念碑の表示板が取れそうになっていますので、対応をお願いします。

(事務局)

関係部局とお話をします。

(2) 安曇野市公民館使用料の減免基準の改正について

《生涯学習課社会教育担当係長より説明》

《安曇野市公民館使用料の減免基準の改正について、質問意見無し。また、「4 その他」について、事務局からも委員からも連絡事項等がなかったため、閉会とした。》

【終了】